

ICT導入で実現する持続可能な職場運営と資源削減

課題

- 日中の作業支援所が1階と2階に分かれているため情報共有が難しく、連携が取りづらい
- パソコン台数が少なくケース記入が同時にできず、作成が職員一人に偏っている



成果

法人名 : 合同会社Kailua
事業所名 : 就労継続支援B型Hoaloha

【①インカム導入】

- 1階と2階の作業状況を職員同士で即時共有でき、確認のために移動する無駄が減った
- 誰がどの作業を終えたかを全体で把握できるため、次の業務へ効率よく移行でき、作業漏れや事故リスクの軽減にもつながった

【②タブレット導入】

- タブレット導入でケース記録を電子化することで、職員間の情報共有が進み、支援の経緯をすぐで検索できるようになった

課題

- 会議資料が紙ベースのため紙の使用量が増えている
- 会議の時に見ているページが違ったり、資料を読み間違ったりする



方策

【スクリーン導入】

- 全員が同じ画面を見ながら話せるため、話のズレが減った
- 動画などで紙では伝わりづらい情報も共有しやすくなった
- 紙資料からスクリーンにすることで紙の無駄も削減することが出来た
→SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」に貢献する

※個人情報が記載されているためスクリーンに投影していません

業務効率化のステップ

- 他県のICT導入の評価を見て自分たちもやってみようと思い実施
- インカムやタブレットなどの必要機器の選定やWi-Fi環境の徹底
- 記録方法や共有方法などの運用ルールの作成
- ICTを段階的に導入する
 - 1. まずインカムで情報共有を改善
 - 2. 次にタブレットで記録の電子化を開始
 - 3. 最後に会議をスクリーン化し、ペーパーレスへ移行

順番に一つずつ導入することでICTが業務全体に浸透し、効率化が進む

職員の声など

【インカム導入】

- 無駄な移動がなくなりスムーズな情報共有になった
- 誰がどの作業を終えたか全体で把握することができ、次の動きが早くなった

【タブレット導入】

- 順番待ちがなくなり、作業が偏らなくなった

【スクリーン導入】

- 意見共有がしやすくなった
- 資料共有が簡単になった